

《北海道 今月のイベント》 まりも祭り (10月 釧路市阿寒町)

——紅葉が色づきはじめた阿寒湖で行われる、国の特別天然記念物まりもを保護する目的のイベント。阿寒湖に丸木舟を浮かべ、まりもを迎える儀式、まりもを護る儀式、まりもを送る儀式が神々しく行われるほか、まりもについての講演、生息地観察会も行われます。

(釧路・阿寒湖観光公式サイトより引用)

INDEX

- 3 印刷燦燦
- 4・5 HOPE2019盛大に開催
- 6・7 HOPE2019セミナー開催される
- 8 令和元年度全国青年印刷人協議会北海道・東北合同ブロック協議会・第25回北海道青年印刷人フォーラム案内
- 8 「勝ち残り合宿ゼミ」(第8期生)参加者募集案内
- 9 65歳超雇用推進助成金案内
- 10 北海道最低賃金改正案内
- 10 令和元年度DTP技能検定案内
- 10 業界のうごき

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル
TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072
[Website] <http://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

印刷 燦 燦

経年変化

「ライオンのグータッチ」というテレビ番組が好きで、毎週録画して観るようにしています。スポーツ等で伸び悩んでいる子ども達を、その種目の有名なアスリートが指導・サポートするという内容です。

司会を務める3人の方々（佐藤隆太さん・博多大吉さん・西野七瀬さん）のトークも絶妙で、本当に子ども達を温かく見守るという優しさが伝わってきます。

一流の人に指導してもらえると嬉しいと思いますが、的確な指導による成長の速さが尋常でなく、その過程を観ているだけでも十分楽しませてくれます。

しかし、いくら上達しても対戦相手のいることです。目標を達成出来る子もいれば、努力の報われない子もいます。ほとんどが素直で真面目な良い子なので、悔し涙を流している姿には、全然涙もろくない私でも目頭が熱くなることがありました。そんな様子を家族が見たら、「とうさんキモイ」と言われそうなので必ず一人で観ます。

土曜日か日曜日で録画を観て子ども達の奮闘に刺激を受け、自分ももっと努力しなければと月曜日から気持ちを新たにして出勤する、これを毎週繰り返している次第です。（繰り返しているのは成長しないからとも言えますが）

このように、何事もこじつけて気力を保とうと努めてはいますが、還暦を間近に控え、健康・体力の面では確実に変わってきています。50歳を過ぎたあたりから毎朝5時には目が覚める、加えて尿意で2回以上トイレに行き、さらに週1回は足がつる、当然睡眠時間が足りない。老眼や関節の痛みなど他の症状も出てきて疲れやすくなりました。それでも、慣れたのもあるし対処法も試してみ、現在は仕事をする上では何の問題もありません。

革製品等を使い込んでいい味が出るのは経年変化ですが、人間も加齢とともにいろいろな障害が出てくるのは経年劣化。その劣化を否定するのではなく、うまく付き合ってこまめにケアすれば、経年変化にとどめるのも可能だろうと、自分の都合にいいように考えています。

北海道印刷工業組合理事・小樽支部長 **米澤正喜**
米沢印刷紙業株式会社 代表取締役

HOPE2019盛大に開催

Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業

北海道印刷工業組合と関連4団体で構成するHOPE実行委員会が主催するHOPE(HOKKAIDO PRINT EXPO)2019が、「Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」をテーマに、9月6日・7日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催され、展示会に2,734人、セミナーに408人、合計3,142人の来場者で賑わった。

H OPE2019は、展示会とセミナーの両建てで開催され、展示会は43社81小間が出展し、セミナーは実行委員会主催の2セッションのパネルディスカッション、トークショー、7社9セッションの出展社企画セミナーおよび北海道印刷工業組合主催のアドビテクニカルセミナーが行われた。

開会式が、9月6日午前9時30分から来賓・出展者などが多数出席して開催された。



岸 昌洋氏

最初に、主催者を代表して岸昌洋HOPE実行委員会会長（北海道印刷工業組合理事長）が、来賓に出席のお礼を述べ、「HOPE (HOKKAIDO PRINT EXPO) は、昨今の印刷産業

のおかれている状況に呼応して、セミナーと展示会を組み合わせ、学びと情報発信の場として2016年から開催し、今回が第4回となる。お蔭様で多くの方々から高い評価をいただいている。4回目となる今年のHOPE2019は、『Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業』をテーマに、展示会は43社81小間の出展、セミナーには12セッションの出講をいただき開催する。出展ならびに出講いただいた印刷・情報機器、資材メーカーならびに関係各位の皆さまの協力と理解に心から厚くお礼申し上げます。昨今の道内印刷業界を取り巻く環境は、景気回復が未だ実感できないなかで、社会・経済構造がIoT、AIなどの新しい技術を中心とした移行期にあり、既存需要の縮小・新規需要創造のための業態変革への転換点に対峙し、新しい発想・目線での経営が余儀なくされており、勝ち残っていくためには、新しい印刷産業へのリ・デザインが求められている。そのためにはハードとソフトの両方に着眼して、新しい目線で印刷産業を捉えていかなければならな

い。我々が再定義を成し遂げ、社会の要求に応えるビジネスを推し進めるためには、自社の設備や技術を向上させることはもとより、同業者・関連業者・隣接異業種とのコラボレーションを積極的に展開することも勝ち残りのための方策の1つである。加えて、先進事例、経営・技術環境の動向やユーザーの要望・印刷業界への見方などを学び、自社の指針を見出すことは勝ち残りのための絶対条件になることは自明の理である。HOPE2019はこれらの要求に応える十分な情報発信と学びのプログラムを兼ね備えているものと自信を持っている。新しいかたちの産業として発展を続ける印刷産業を自身の目で確認いただきたい」と述べた。

つづいて、来賓紹介が行われ、代表して4人から祝辞が述べられた。



岡出直人氏

岡出直人経済産業省北海道経済産業局地域経済部長は、「最近の経済情勢は、順調に回復している状況であるが、その一方で人口減少、少子高齢化で、企業経営においては人材確保、生産性の向上が喫緊の課題となっている。印刷業界はそうした課題に加えて電子書籍、あるいは活字離れにより需要が減少、さらに印刷用紙の値上げもあり厳しい環境にあると認識している。こうした状況であるが印刷業界の皆さんにおかれては、これまで培ったノウハウと最新のAI、IoTの技術を活用しながら新しいサービスの開発・提供、新分野への挑戦に取り組んでいただきたい。今回のイベントは、最新の機器、サービスの紹介が多数あるので、ビジネスチャンスを手掴みいただき、さらなる成長発展につなげていただきたい。政府では、2020年までは生産性革命の集中投資期間として人、

物、金とデータを結び付け高い付加価値を生み出す産業社会コネクテッド・インダストリーズを推進しており、北海道経済産業局においても皆さんの取組について、ものづくり補助金あるいはIoT導入補助金を活用し、応援させていただきたい」と述べた。



伊藤雅実氏

伊藤雅実北海道経済部産業振興局産業振興課立地担当課長は、「印刷業界を取り巻く環境はデジタル化の進展などにより紙需要の縮小など新たな需要創出に向けて新しい視点と発想が求められている。こうしたなか2016年から印刷業界の学びと情報発信の場としてHOPEが立ち上げられ、業界が一丸となって積極的に事業活動を展開されているということは大変意義深いものであり、道としても心強く思っている。また、印刷業界の皆さんには長きにわたり培われた技術により、道内各産業の事業活動をこれからも支援していただき、北海道経済の発展に尽力、力添えをいただけたら幸いである。道としてもAI、IoTの道内企業の導入の支援、UI化の促進、若い世代へのものづくりの理解促進を深める事業を展開して本道経済の発展を担う人材の確保、育成、生産性の向上に努めていく。また、今年9月下旬、北海道にゆかりのある企業や北海道を応援していただける皆さんの交流の場として『ほっかいどう応援団会議』を立ち上げることにしている。この場で北海道の可能性をさらに広げていくことを知事も力強くやっているので皆さんの理解と協力をお願いしたい」と述べた。



水野栄二氏

水野栄二札幌市経済観光局産業振興部立地促進・ものづくり産業課長は、「札幌市を取り巻く経済環境は、インバウンドの増加に伴う好調な観光業、雇用動向の改善などにより緩やかに持ち直しをしている状況が続いている。ただその一方で市内の製造業を対象にしたアンケートによると、一番の課題は人材不足ということで、北海道は全国より早いスピードで人口減少と高齢化が進んでおり、人材不足、市場の縮小が喫緊の課題であると認識している。また、印刷業界では、印刷物自体の減少があり仕事や売上が減っているということもよく認識している。これら製造業、印刷業界の課題に対して、札幌市はIoTやAIの先端技術を活用しながら新たな付加価値の創出によって解決を図っていくことが非常に重要と考えており、今年度から札幌市独自でIoT活用による生産性向上の支援策を進めている。今後も印刷産業は本市経済を支える重要な基幹産業の一つであることに変わりはないと考えており、今後活発に成長されることを期待している。また、皆さんが本イベントなどの機会を有効に活用して業態変革に取り組まれていく姿を本市も関係機関と連携して是非応援していきたい」と述べた。



滝澤光正氏

滝澤光正全日本印刷工業組合連合会副会長は、「今回のHOPE2019では、これまでの開催を踏まえ、さらに工夫を凝らし、学びと情報発信の場としてより有効活用できるよう、情報発信の場としての展示会では今後の印刷産業として勝ち残るための最新の機器・技術・サービス等が紹介され、学びの場としてのセミナーでは実行委員会主催セミナーや出展社の皆さまの企画セミナーが数多く準備され経営・営業・技術の全般にわたり広く勉強する機会になっている。参加される印刷関連業やユーザーの方々とともに課題解決の糸口を見出し、印刷業界全体の発展に結び付けていただきたいと期待している。現在、私も全日本印刷工業組合連合会では、今回のHOPEのテーマと同じである、ブランドスローガンとして、『Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業』を掲げ、中小印刷産業の向かうべき方向性を共有し、人々の幸せを創り続ける印刷産業を実現するための諸事業に取り組んでいる。また、私も全印工連の対外広報戦略として、CMYKプロジェクトの大喜利印刷という取組をさまざまなメディアを通じて広く発信し、将来の印刷産業発展の最も大切な基盤となる人材確保のプラットフォームの構築を目指している。後ほど大喜利印刷の目指すものというテーマで1時間半の時間をいただいているので、詳しい内容はパネリストの皆さんと一緒にそちらで説明させていただく。今回のHOPE2019が、印刷産業が夢のある元気のある産業として、今後も発展していく、その推進力になることを大いに期待している」と述べた。

つづいて、来賓の岡出直人経済産業省北海道経済産業局地域経済部長、伊藤雅実北海道経済部産業振興局産業振興課立地担当課長、水野栄二札幌市経済観光局産業振興部立地促進・ものづくり産業課長、滝澤光正全日本印刷工業組合連合会副会長、福迫均北海道中小企業団体中央会専務理事、岸昌洋HOPE実行委員会会長によるテープカットが行われ、HOPE2019が開幕した。



左から岸氏、滝澤氏、伊藤氏、岡出氏、水野氏、福迫氏

HOPE2019セミナー開催される

HOPE2019セミナーが、9月6日・7日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで実行委員会主催のパネルディスカッション、トークショー2セッションと7社9セッションの出展社企画セミナーおよび北海道印刷工業組合主催のアドビテクニカルセミナーが、400人を超える受講者で開催された。

セミナーを写真グラフで紹介する。

9月6日金

パネルディスカッション



提 供 : HOPE実行委員会

テ ー マ : 「全印工連CMYKプロジェクト～『大喜利印刷』の目指すもの～」

座 長 : 滝澤新聞印刷株式会社 代表取締役 滝澤光正氏

ファシリテーター : konel プロデューサー/代表取締役 出村光世氏

パネリスト : 弘和印刷株式会社 代表取締役 瀬田章弘氏

パネリスト : 有限会社篠原紙工 代表取締役 篠原慶丞氏

セミナー①



提 供 : 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

テ ー マ : 「利益を生む! ITを駆使してオフセット印刷とデジタル印刷を最大活用するには」

講 師 : 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社
ワークフロー営業部 部長 佐々木健至氏

講 師 : 富士ゼロックス株式会社GSC事業本部事業企画管理部
事業推進グループ市場開発チーム マネージャー 荻野 賢氏

セミナー②



提 供 : リコージャパン株式会社

テ ー マ : 「『断られない営業の心得』～営業成績を上げ続ける小さなコツ～」

講 師 : Soriso (ソリーゾ) 代表 戸谷有里子氏

セミナー③



提 供 : 株式会社小森コーポレーション

テ ー マ : 「水をしばると7つのいいことが起こる!？」

講 師 : 株式会社小森コーポレーション大阪支社業務課
KPMコンサルタント 川名茂樹氏

セミナー④



提 供 : 株式会社SCREEN GPジャパン

テ ー マ : 「SCREENが推進するスマートファクトリー」

講 師 : 株式会社SCREEN GPジャパン営業本部BI統括部ICT推進部
部 長 山岡拓也氏

講 師 : 株式会社SCREEN GPジャパン営業本部BI統括部ICT推進部
副部長 中村 聡氏

セミナー⑤



提 供 : ハイデル・フォーラム21北海道地区会

テ ー マ : 「永続的な企業発展のための戦略と事業再生
～逆境にも負けない、強い会社・組織づくり～」

講 師 : 株式会社ウエマツ 代表取締役社長 福田浩志氏

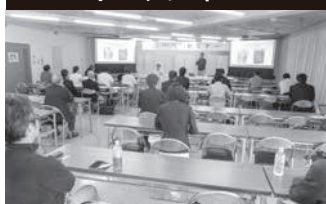
セミナー⑥



- 提 供 : コニカミノルタジャパン株式会社
- テ ー マ : 『収益性アップのためのデジタル印刷工程における究極の自動化と省力化とは?』～事業拡大のための真の働き方改革とは～』
- 講 師 : コニカミノルタジャパン株式会社
プロダクション事業統括部商品戦略部 部長 小山直仁氏

9月7日

トークショー



- 提 供 : HOPE実行委員会
- テ ー マ : 『『デジタルトランスフォーメーションでブランドが変わる、ビジネスが変わる』～印刷メディア・印刷サービスが受け止める変化と進む方向性は?～』
- スピーカー : 株式会社グーフ 代表取締役 岡本幸憲氏
- スピーカー : アウトブレインジャパン 顧問 本間 充氏

セミナー⑦



- 提 供 : リコージャパン株式会社
- テ ー マ : ①「見逃しているなんてモッタイナイ!!!Illustratorでの作業の効率アップに直結するパス、ベジェ曲線」
②「インバウンド向け制作物のための多言語フォントの基本」
- 講 師 : 株式会社スイッチ 代表取締役/Adobe Community Evangelist
鷹野雅弘氏

セミナー⑧



- 提 供 : 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社
- テ ー マ : 『『ワイドフォーマットインクジェットプリンターの可能性』
～大判インクジェット印刷のインテリア市場における革命～
〈過去・現在そして未来に向けて〉』
- 講 師 : リンテックサインシステム株式会社
代表取締役社長 小島一仁氏

セミナー⑨



- 提 供 : 株式会社モリサワ
- テ ー マ : 「2020に向けた情報アクセシビリティの向上」
- 講 師 : 株式会社モリサワ公共ビジネス課 仁田野良介氏

セミナー⑩



- 提 供 : 北海道印刷工業組合
- テ ー マ : 「アドビテクニカルセミナー2019夏の陣
～クラウド・AI時代のDTPスキル～」
- 講 師 : アドビシステムズ株式会社 デザイナー 近藤祐爾氏

令和元年度全国青年印刷人協議会北海道・東北合同ブロック協議会 第25回北海道青年印刷人フォーラムのご案内

北海道印刷工業組合青年部委員会は、令和元年全国青年印刷人協議会北海道・東北合同ブロック協議会ならびに第25回北海道青年印刷人フォーラムを開催する。

今 回の事業テーマは、『ハイ・サービスの実践』である。

昨年、ハイ・サービス300選企業を調査し、印刷業界の「ハイ・サービス」についてディスカッションを行った。

今年は、それを活かしてハイ・サービスを実践してみようというテーマで、北海道ブロック、東北ブロックがそれぞれハイ・サービスを実践し、ブロック協議会

で発表する。

発表後は、実践した内容について協議し、より理解を深めていただき、各社の取組に結び付けていくことを目的としている。

また、懇親会も用意しているので発表で語られなかった苦労話を語り合い、地域を越えた絆を作っていくことを目指している。

日 時	令和元年10月19日(土) 協議会 13:30~17:30 (受付13:00より) / 懇親会 18:00~
会 場	TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 (札幌市中央区北4条西6丁目1番 毎日札幌会館 5F 電話:011-252-3165)
会 費	協議会: 無料 / 懇親会: 5,000円
申 込 先	株式会社ホクラミ 担当: 矢吹 Tel: 011-512-3378 / Fax: 011-512-4289

※参加申込書は、北海道印刷工業組合ホームページ (<http://www.print.or.jp>) からダウンロードできる。

「勝ち残り合宿ゼミ」(第8期生)参加者募集のご案内

全日本印刷工業組合連合会は、「勝ち残り合宿ゼミ」と称し、組合員の50%以上にあたる中小規模の印刷会社の皆さんとともに「なぜ苦しいのか?」、「なぜ儲からないのか?」を具体的な数値管理と客観的な分析の方法を学ぶため、合宿形式のセミナーを開催する。

こ のゼミでは、厳しい状況下で苦労されながらも、「将来の見通しは不安だが頑張る」、「他地区であればお互いに情報交換をしたい」という若手経営者もしくはそれに準じる次世代の経営者候補の方々に業界を取り巻く厳しい環境変化にも耐え得る自社の正確な立ち位置の把握と経営にとって最も必要な利益計画に基づく経営計画を講義と演習で学ぶことができる。

日 時	令和元年12月13日(金)~14日(土) 13日12:30受付 / 14日15:00解散
会 場	ヘリテイジ浦和別所沼会館 (埼玉県さいたま市南区别所4-14-10 電話048-861-5219)
参 加 費	35,000円 (テキスト・宿泊・懇親会費、税込)
対 象	経営者もしくはそれに準じる次世代の経営者候補の方で、年齢・事業規模は問わず1社2名まで
講 師	プリ・テックグループ代表 高井昭弘氏 (株)ウエマツ代表取締役社長 福田浩志氏
定 員	20人 (申込先着順)
持 参 する 物	冊子「印刷産業経営羅針盤」(事前購入のこと)、直近の決算書(演習で使用しますが、他者が閲覧することはありません)、電卓、勝ち残りという熱い「志」

※詳細・参加申込は、
<http://www.aj-pia.or.jp/wp-content/uploads/2019/08/8th-kachinokori.pdf> を参照。

65歳超雇用推進助成金のご案内

平成31年4月から一部コースの見直しを行いました

～65歳超継続雇用促進コース～

65歳以上への定年の引き上げ、定年の定め廃止、希望者全員を対象とする66歳以上の継続雇用制度の導入のいずれかの措置を実施する事業主の皆様を助成します。

主な支給要件	<ul style="list-style-type: none"> ・労働協約又は就業規則で定めている定年年齢等を、旧定年年齢（※¹）を上回る年齢に引き上げること。 ・定年の引き上げ等の実施に対して、専門家へ委託費等の経費の支出があること。また、改正後の就業規則を労働基準監督署へ届け出ること。 ・1年以上継続して雇用されている60歳以上の雇用保険被保険者が1人以上いること。 ・高齢者雇用推進者の選任及び高齢者雇用管理に関する措置（※²）を実施すること。 										
	支給額	実施した制度	65歳への定年引き上げ		66歳以上への定年引き上げ		定年の廃止	66～69歳の継続雇用への引き上げ		70歳以上の継続雇用への引き上げ	
		引き上げた年数	5歳未満	5歳	5歳未満	5歳以上		4歳未満	4歳	5歳未満	5歳以上
		60歳以上の被保険者数※ ³									
			1～2人	10	15	15	20	20	5	10	10
	3～9人	25	100	30	120	120	15	60	20	80	
	10人以上	30	150	35	160	160	20	80	25	100	
■1事業主あたり（企業単位）1回限り（単位：万円）											

～高齢者評価制度等雇用管理改善コース～

高齢者の雇用管理制度を整備するための措置（高齢者雇用管理整備措置）を実施した事業主の皆様を助成します。

措置（注1）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の能力開発、能力評価、賃金体系、労働時間等の雇用管理制度の見直しもしくは導入 ・法定の健康診断以外の健康管理制度（人間ドックまたは生活習慣病予防検診）の導入 <p>（注1）措置は、55歳以上の高齢者を対象として労働協約又は就業規則に規定し、1人以上の支給対象被保険者に実施・適用することが必要。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・支給対象経費（注2）の60%《75%》、ただし中小企業事業主以外は45%《60%》 <p>（注2）措置の実施に必要な専門家への委託費、コンサルタントとの相談経費（経費の額にかかわらず、初回の申請に限り30万円の費用を要したものとみなします。） 【《 》内は生産性要件を満たす場合※⁴】</p>
支給額	

～高齢者無期雇用転換コース～

50歳以上かつ定年年齢未満の有期契約労働者を無期雇用労働者に転換した事業主の皆様を助成します。

申請の流れ	<ol style="list-style-type: none"> ① 無期雇用転換制度を整備 ② 高齢者雇用推進者の選任及び高齢者雇用管理に関する措置（※²）を1つ以上実施 ③ 転換計画の作成、機構への計画申請 ④ 転換の実施後6ヶ月分の賃金を支給 ⑤ 機構への支給申請
	<ul style="list-style-type: none"> ・対象労働者1人につき48万円（中小企業事業主以外は38万円） ・生産性要件を満たす場合※⁴には対象労働者1人につき60万円（中小企業事業主以外は48万円）
支給額	

※¹ 旧定年年齢とは…

就業規則等で定められていた定年年齢のうち、平成28年10月19日以降、最も高い年齢

※² 高齢者雇用管理に関する措置とは…

(a)職業能力の開発及び向上のための教育訓練の実施等 (b)作業施設・方法の改善 (c)健康管理、安全衛生の配慮 (d)職域の拡大 (e)知識、経験等を活用できる配置、処遇の推進 (f)賃金体系の見直し (g)勤務時間制度の弾力化のいずれか

※³ 60歳以上の被保険者とは…

当該事業主に1年以上継続して雇用されている者であって、期間の定めのない労働協約を締結する労働者または定年後に継続雇用制度により引き続き雇用されている者に限ります。

※⁴ 生産性要件を満たす場合は…

『助成金の支給申請を行う直近の会計年度における「生産性」が、その3年度前に比べて6%以上伸びていること』（生産性要件の

$$\text{生産性} = \frac{\text{営業利益} + \text{人件費} + \text{減価償却費} + \text{動産} \cdot \text{不動産賃借料} + \text{租税公課}}{\text{雇用保険被保険者数}} \quad (\text{企業の場合})$$

算定対象となった期間中に、事業主都合による離職者を発生させていないこと）が要件です。



独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
北海道支部 高齢・障害者業務課
(TEL: 011-622-3351)

■お問合わせや申請は、都道府県支部高齢・障害者業務課までお願いします。そのほかに必要な条件、要件等もございますので、詳しくはホームページ (<http://www.jeed.or.jp>) をご覧ください。

北海道最低賃金改正

令和元年10月3日改定

北海道内で事業を営む全産業の使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む）に適用される北海道最低賃金（地域別）が、次のとおり改定された。

最低賃金額	時間額861円	効力発生日	令和元年10月3日
-------	---------	-------	-----------

- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金および時間外等割増賃金は算入されない。
- 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがある。

令和元年度DTP技能検定のご案内

厚生労働省の令和元年度技能検定プリプレス職種「DTP作業」が実施される。DTP作業従事者の方々への教育の一環として活用でき、スキルアップに繋がる。令和元年度後期に実施されるプリプレス職種「DTP作業」の主な内容は次のとおり。

【令和元年度後期技能検定プリプレス職種「DTP作業」】

受検申請受付	令和元年10月7日（月）～18日（金）
実技試験日程	令和2年1月下旬～2月上旬
実技試験会場 （予定）	北海道立札幌高等技術専門学院（札幌市東区北27条東16丁目） 北海道立旭川高等技術専門学院（旭川市緑が丘東3条2丁目） ※受検者数によって1会場になる場合がある。
学科試験日程	令和2年2月9日（日）
学科試験会場	札幌市・旭川市・函館市・滝川市・北見市・室蘭市・帯広市・釧路市の指定する会場
実技試験内容	DTPアプリケーションを使用し、提示された指定書により、支給された課題データを組版・編集し、カラープリンターにより出力する。
受検区分	1級および2級
受検手数料	実技18,200円 学科3,100円 ※35歳未満の2級実技検定受検は9,000円減額になる。
受検申請・問い合わせ先	北海道職業能力開発協会または各地方職業能力開発協会

業 界 の う ご き

▶(株)サウザンラボ社長に天野茂雄氏

株式会社サウザンラボ（札幌市北区百合が原4丁目1番34号）は、このたび、塚本昌孝社長に代わり、新しく代表取締役有天野茂雄氏が就任した。